



広報



七夕まつりキャラクター「たっけー☆☆」



FUSSA

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

平成21年(2009年)

8月1日 No. 788

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511 (市役所代表)
毎月1日・15日発行

今号の主な記事

2面 第21回国際フェア出演者&ポスターデザインを募集します 3面 市内の町会・自治会を紹介します
4面 敬老大会にお越しください 5面 バリアフリーの推進にご協力を 6面 成人式実行委員募集 8面 市職員の募集

8月8日(土)は七夕まつり期間中のため、市役所は閉庁します。問合せ企画調整課企画調整担当 ☎51・1528

平和のつどいにご参加ください

「市民が語る福生・昭和三十年代 パートII」

市主催の「平和のつどい」を開催します。皆さんお誘いあわせのうえ、気軽においでください。22回目となる今年は、昨年から始まりました「市民が語る福生・昭和三十年代 パートII」として、講演者の方々にその当時の貴重なお話をさせていただきます。

日時 8月16日(日)午後1時開場、1時30分開演

場所 市民会館小ホール(つつじホール)※入場無料

問合せ 総務課法制総務係 ☎551・1576

講演者

- ◆坂本丁次氏
テーマ「華やかな七夕まつり」
- ◆清水勇司氏
テーマ「グラウンドで見たスポーツの思い出」
- ◆齋藤 翼氏
テーマ「陸協と体協との出会い」

座談会

坂本丁次氏・清水勇司氏・齋藤翼氏・石川和夫氏
・原嶋卓美氏・松坂直人氏

平和のつどい
市民が語る福生
昭和30年代パートII
テーマ・講演者
○華やかな七夕まつり 坂本 丁次氏
○グラウンドで見たスポーツの思い出 清水 勇司氏
○陸協と体協との出会い 齋藤 翼氏
座談会 上記3名に加え企画委員も参加
企画委員 坂本丁次氏 原嶋卓美氏 石川和夫氏 松坂直人氏
平成21年 8月16日(日)
市民会館小ホール (つつじホール)
■午後1時30分~午後3時30分 (開場 午後1時00分)
■主催: 福生市
みなさんの参加をお待ちしています
入場無料

昭和30年代の福生の様子



福生駅前 中央通り



南田園 三中付近

講演者・坂本丁次氏の語る「華やかな七夕まつり」

1951(昭和26)年7月6日、福生七夕まつりが産声を上げた。既製品ばかりで華やかさはないが、昼間から見物客が来て3日間にぎわった。翌年、銀座通り商店街が七夕に参加し、竹飾りコンクールが始まった。1956(昭和31)年、「壁面飾り」が登場、まつりは豪華の一途をたどる。

「七夕」……日本人ならではの特別な郷愁を感じるまつり。横田基地の米兵、その家族も七夕に姿を見せる。基地を意識した演出なのか、飾りに英語が増え、新聞は「横文字の七夕」と書いた。

順調に走り出した七夕まつりは1968(昭和43)

年、梅雨を避けて8月初めに移る。

前年は初日だけが晴れ、後の3日は大雨で商店は悲鳴を上げた。「七夕まつりは仙台と同じ夏休み中がベスト」、否も応もなかった。

40年も続いた露店が1993(平成5)年に姿を消し、代わって市民の模擬店が出店した。露店は七夕の彩りとして歓迎されたが、暴力団との関連もあって締め出し、市民まつりへの転換を図った。模擬店会場を「ギャラクシー・ストリート(天の川通り)」と命名。夢想だにできなかったほど、まつりは明るさを増した。

広報ふっさ平成12年7月15日号への寄稿より抜粋

今回のテーマは、戦後から昭和30年代への福生の移り変わりとして、当時のスポーツ活動や七夕まつりを中心としたお話を予定しています。

また、昨年に引き続き、講演の後で、企画委員さんも加わって、お話しいただいたテーマを中心に座談会形式でディスカッションをする予定です。興味のある方は奮ってご参加ください。

SPコードを掲載しています!

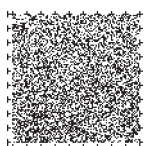
目の不自由な方の情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を、紙面に掲載しています。コードは専用の読取装置を使い、記録されている文字情報を音声で聞くことができます。

毎月1日号の奇数面の記事をそれぞれ抜粋してコード化し、触って位置がわかるように半円状の切り込みを入れています。

問合せ 秘書広報課広報広聴係 ☎551・1568

今年、ガリレオガリレイが望遠鏡で天体観測を始めて、400年目にあたるそうです。それを記念し、今年「世界天文年」として、宇宙をより身近に感じられるような活動が、世界的に繰り広げられています。

また、ちょうど今年7月22日が、日本で46年ぶりに皆既日食(東京では部分日食)が観測できる年にあたっていたことから、ちょっとした天文ブームになっているようです。今はホコリをかぶって、押入れの奥に入れておけばいいのですが、実は私も小学生時代、天体望遠鏡が欲しくて、お年玉や少ない小遣いをためて、購入した覚えがあります。そして、その望遠鏡を夜空に向けて、初めて月のクレイターを見た時の純粋な感激は、今も記憶に残っています。その感激が元になって、科学者の道を歩き出したということならば、いいストーリーとなったことでしょう。が、現実には高校時代、地学や物理が大の苦手で、ぎりぎりの成績でした。しかし、今でも星や夜空を見るのは好きです。今年、望遠鏡を引っ張り出して、夏の夜空を眺めてみようと思っています。



全力投球



福生市長 加藤育男

福生市表彰式にて

天体観測